

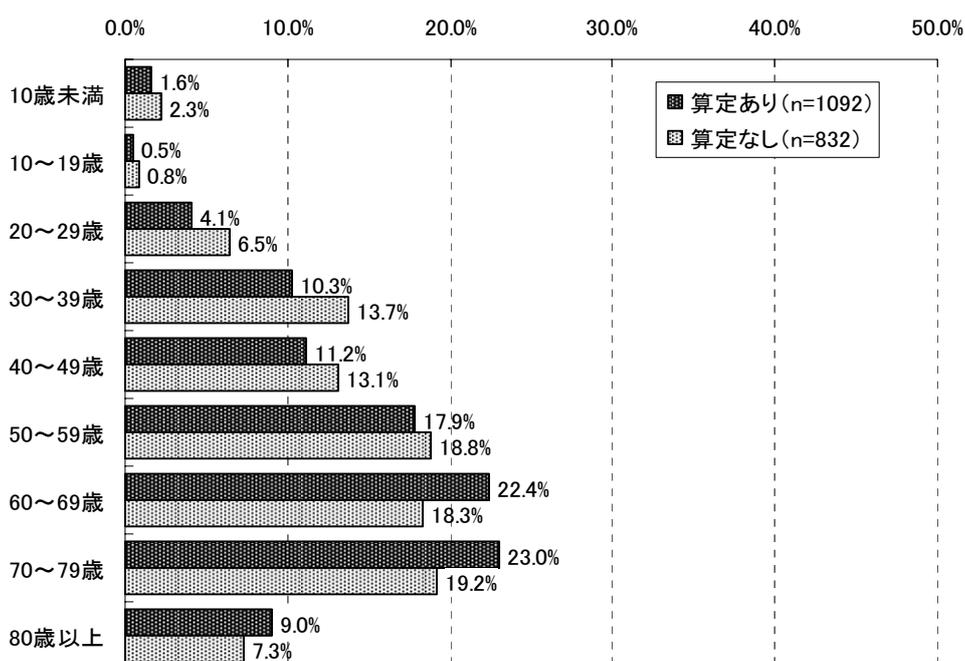
患者の年齢についてみると、全体では、平均 57.0 歳（標準偏差 18.4、中央値 60.0）であった。外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者では、平均 58.5 歳（標準偏差 17.9、中央値 61.0）、「算定なし」の患者では、平均 54.9 歳（標準偏差 18.9、中央値 57.0）となり、「算定あり」の患者の平均年齢の方がやや高かった。

患者の年齢分布をみると、「算定あり」の患者では、「70～79 歳」（23.0%）が最も多く、次いで「60～69 歳」（22.4%）、「50～59 歳」（17.9%）、「40～49 歳」（11.2%）となった。「算定なし」の患者では、「70～79 歳」（19.2%）が最も多く、次いで「50～59 歳」（18.8%）、「60～69 歳」（18.3%）、「30～39 歳」（13.7%）であった。

図表 55 患者の年齢（歳）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
全体 (n=1924)	57.0	18.4	103.0	0.0	60.0
病院	56.2	17.5	96.0	2.0	58.0
診療所	57.8	19.5	103.0	0.0	62.0
算定あり (n=1092)	58.5	17.9	103.0	2.0	61.0
病院	57.8	17.2	96.0	2.0	60.0
診療所	59.4	18.7	103.0	3.0	65.0
算定なし (n=832)	54.9	18.9	99.0	0.0	57.0
病院	54.3	17.8	95.0	3.0	55.0
診療所	55.6	20.4	99.0	0.0	60.0

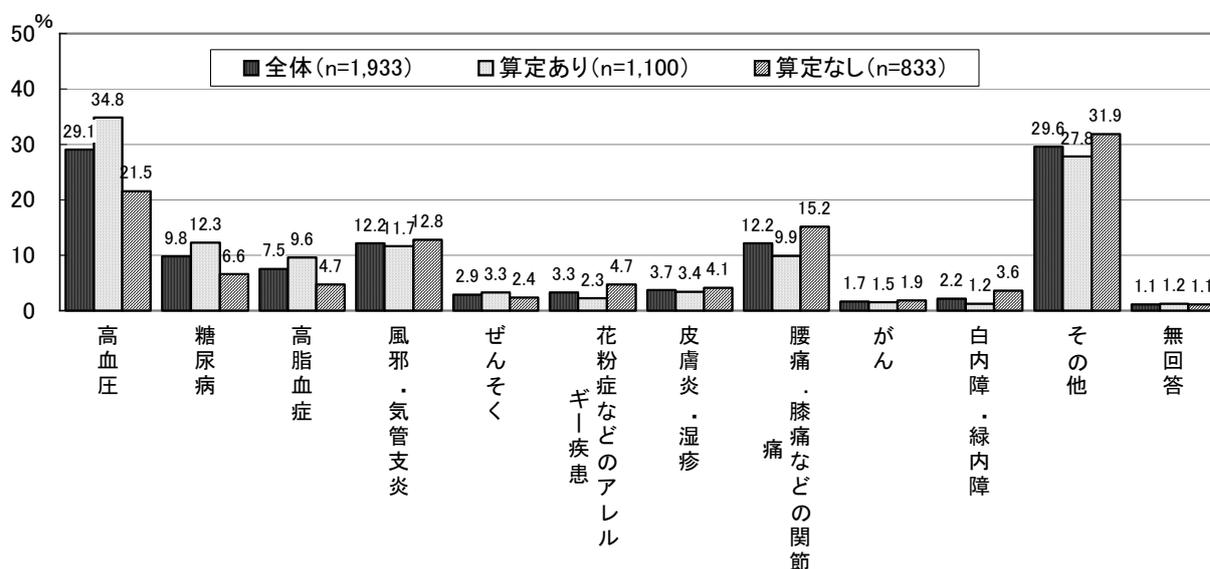
図表 56 患者の年齢の分布



患者の傷病についてみると、全体では「高血圧」(29.1%)が最も多く、次いで「風邪・気管支炎」「腰痛・膝痛などの関節痛」(いずれも12.2%)、「糖尿病」(9.8%)、「高脂血症」(7.5%)であった。

外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに、「高血圧」(それぞれ34.8%、21.5%)が最も多かった。次いで、「算定あり」の患者では、「糖尿病」(12.3%)、「風邪・気管支炎」(11.7%)、「腰痛・膝痛などの関節痛」(9.9%)となり、「算定なし」の患者では、「腰痛・膝痛などの関節痛」(15.2%)、「風邪・気管支炎」(12.8%)、「糖尿病」(6.6%)となった。

図表 57 患者の傷病



## ②患者の通院状況

患者が受診した診療科についてみると、全体では、「内科」(59.1%)が最も多く、次いで「整形外科」(9.5%)、「外科」(4.5%)と続いた。

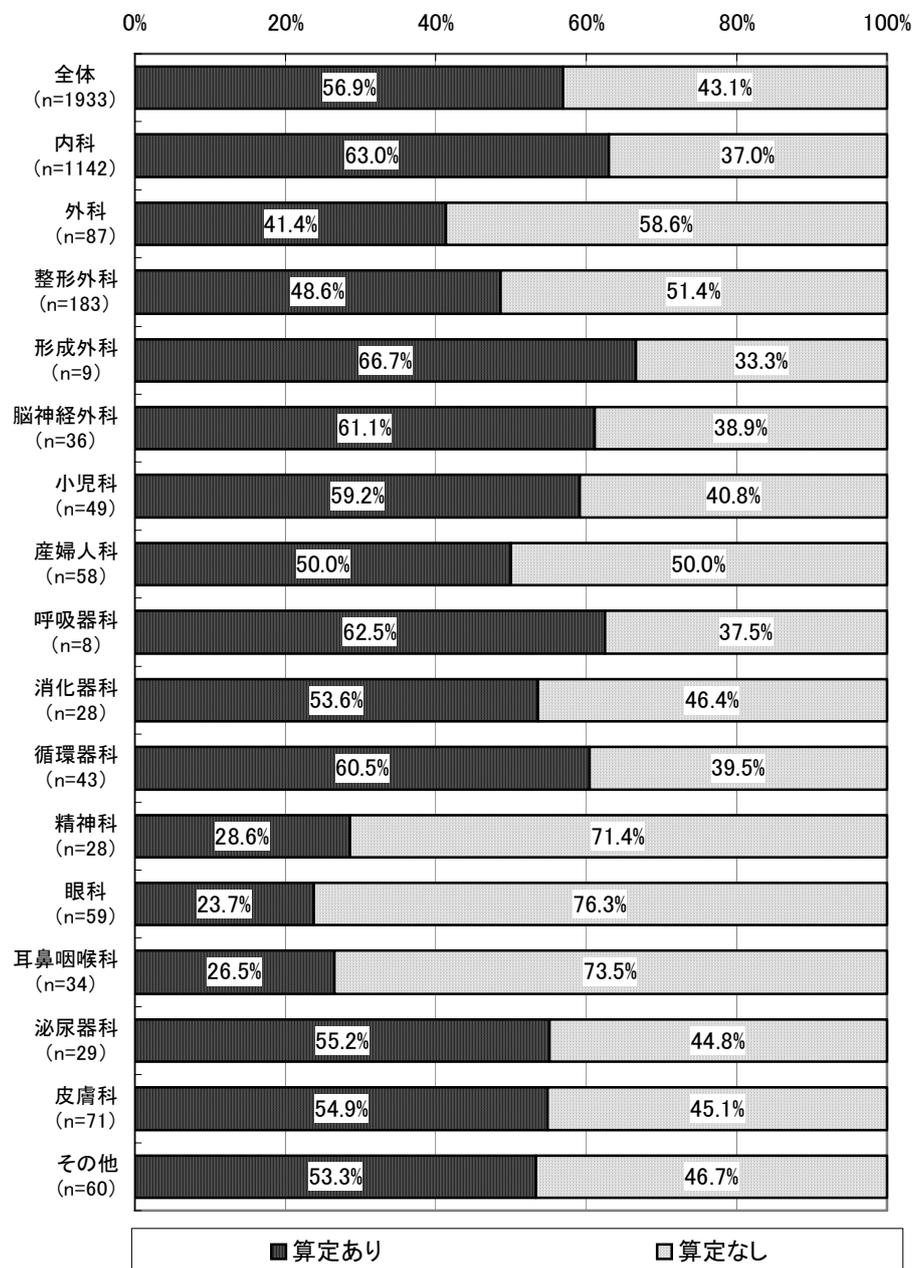
外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「内科」(それぞれ65.5%、50.7%)が最も多く、次いで「整形外科」(それぞれ8.1%、11.3%)であった。

図表 58 受診した診療科

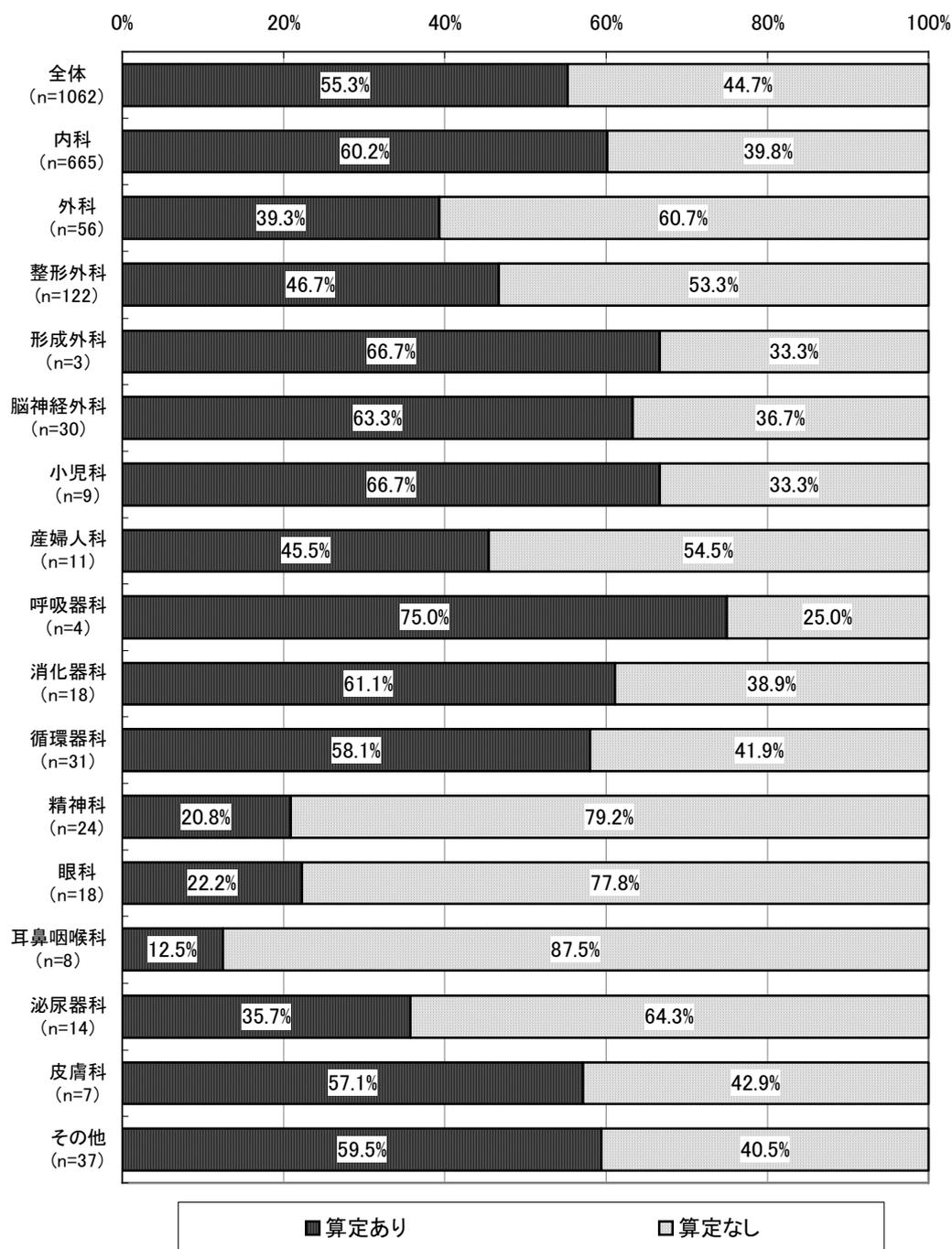
	全体		算定あり		算定なし	
		%		%		%
全体	1,933	100.0	1,100	100.0	833	100.0
内科	1,142	59.1	720	65.5	422	50.7
外科	87	4.5	36	3.3	51	6.1
整形外科	183	9.5	89	8.1	94	11.3
形成外科	9	0.5	6	0.5	3	0.4
脳神経外科	36	1.9	22	2.0	14	1.7
小児科	49	2.5	29	2.6	20	2.4
産婦人科	58	3.0	29	2.6	29	3.5
呼吸器科	8	0.4	5	0.5	3	0.4
消化器科	28	1.4	15	1.4	13	1.6
循環器科	43	2.2	26	2.4	17	2.0
精神科	28	1.4	8	0.7	20	2.4
眼科	59	3.1	14	1.3	45	5.4
耳鼻咽喉科	34	1.8	9	0.8	25	3.0
泌尿器科	29	1.5	16	1.5	13	1.6
皮膚科	71	3.7	39	3.5	32	3.8
その他	60	3.1	32	2.9	28	3.4
無回答	9	0.5	5	0.5	4	0.5

(注)「その他」の内容として、「リハビリテーション科」「心療内科」「神経内科」「肛門科」等があげられた。

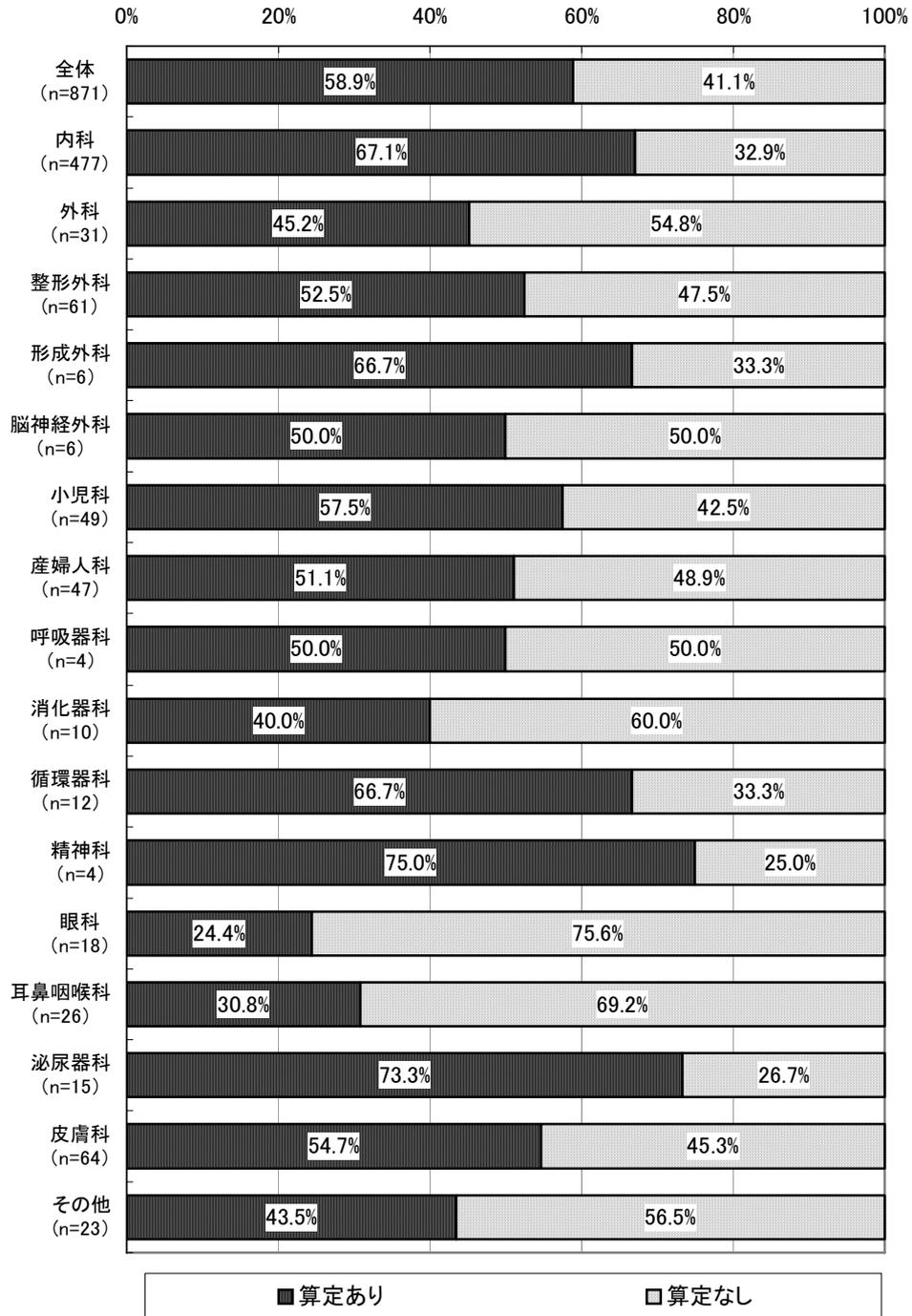
図表 59 受診した診療科別の算定あり・なしの割合（全体）



図表 60 受診した診療科別の算定あり・なしの割合（病院）



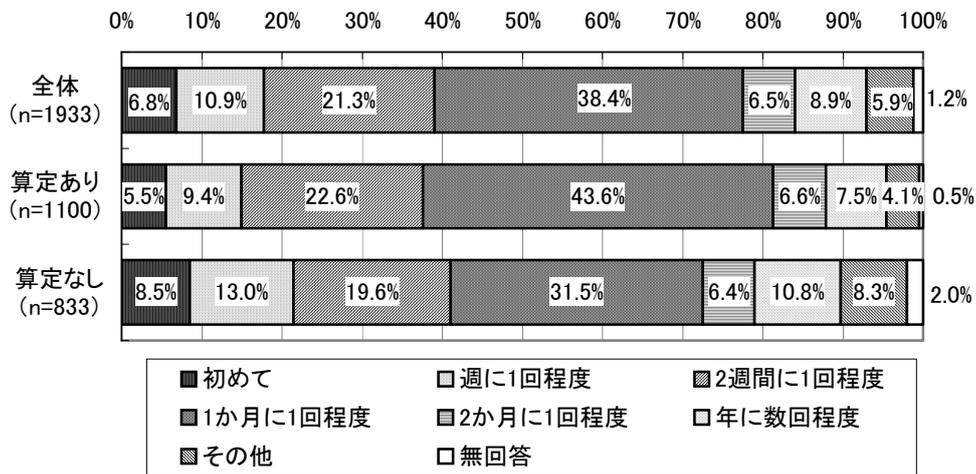
図表 61 受診した診療科別の算定あり・なしの割合（診療所）



通院頻度についてみると、全体では、「1か月に1回程度」(38.4%)が最も多く、次いで「2週間に1回程度」(21.3%)、「週に1回程度」(10.9%)、「年に数回程度」(8.9%)であった。外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者でも同様の傾向であった。

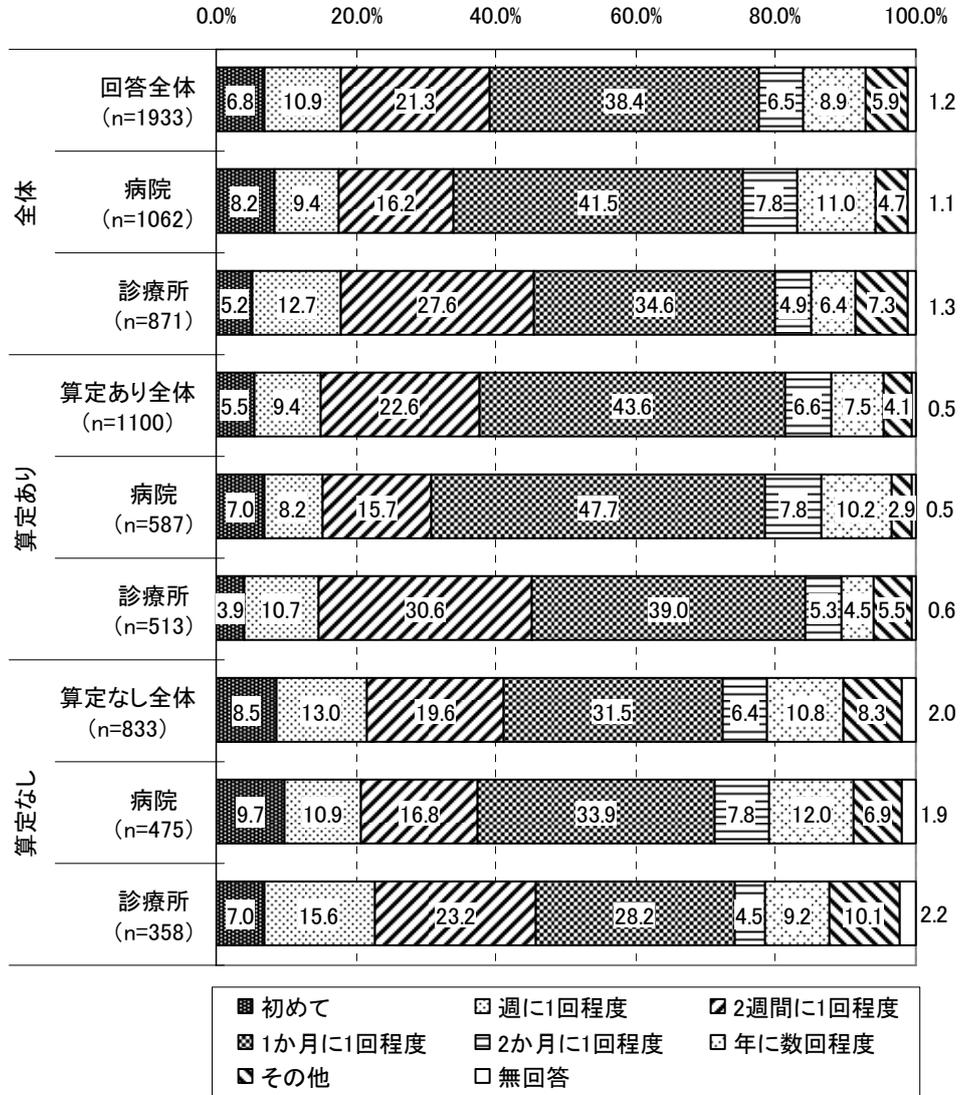
「算定あり」の患者と「算定なし」の患者とを比較すると、「算定あり」の患者では「2週間に1回程度」(22.6%)、「1か月に1回程度」(43.6%)、「2か月に1回程度」(6.6%)の回答割合が「算定なし」の患者における回答割合よりも高く、「算定なし」の患者では「初めて」(8.5%)、「週に1回程度」(13.0%)、「年に数回程度」(10.8%)の回答割合が「算定あり」の患者における回答割合よりも高かった。

図表 62 通院頻度



(注) 「その他」の内容としては、「週に2回」「週に3回」「3週間に1回」「10日に1回」等があげられた。

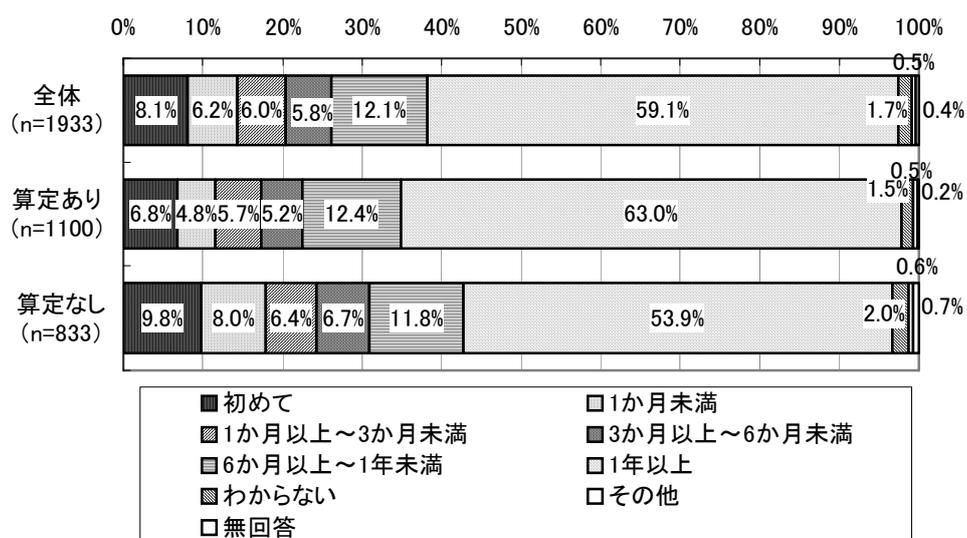
図表 63 通院頻度（病院・診療所別）



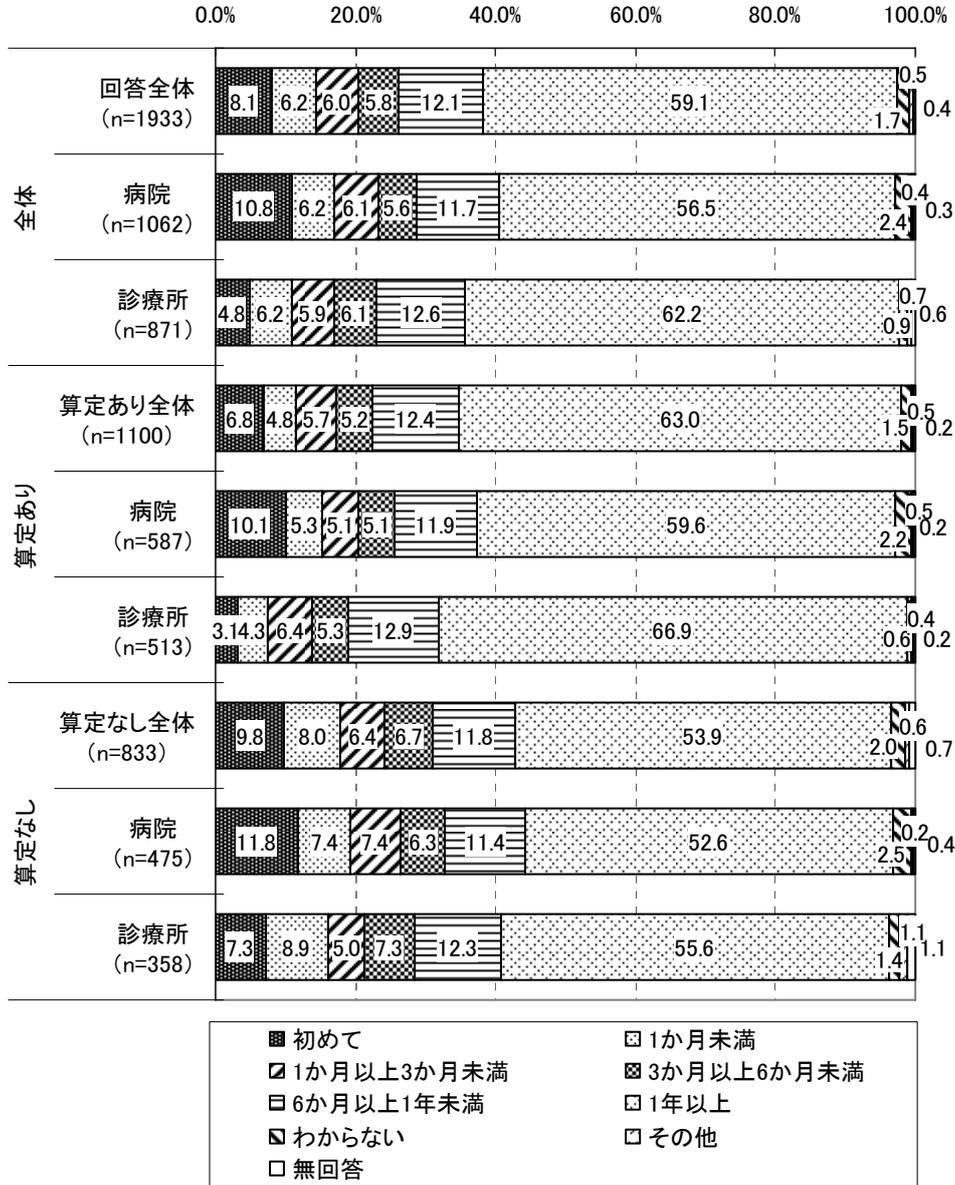
通院期間についてみると、全体では、「1年以上」(59.1%)が最も多く、次いで「6か月以上～1年未満」(12.1%)、「初めて」(8.1%)となった。

外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「1年以上」(それぞれ63.0%、53.9%)が最も多かった。「1年以上」の患者についてみると、「算定あり」の患者の割合が「算定なし」の患者と比較して、9.1ポイント高かった。

図表 64 通院期間



図表 65 通院期間（病院・診療所別）

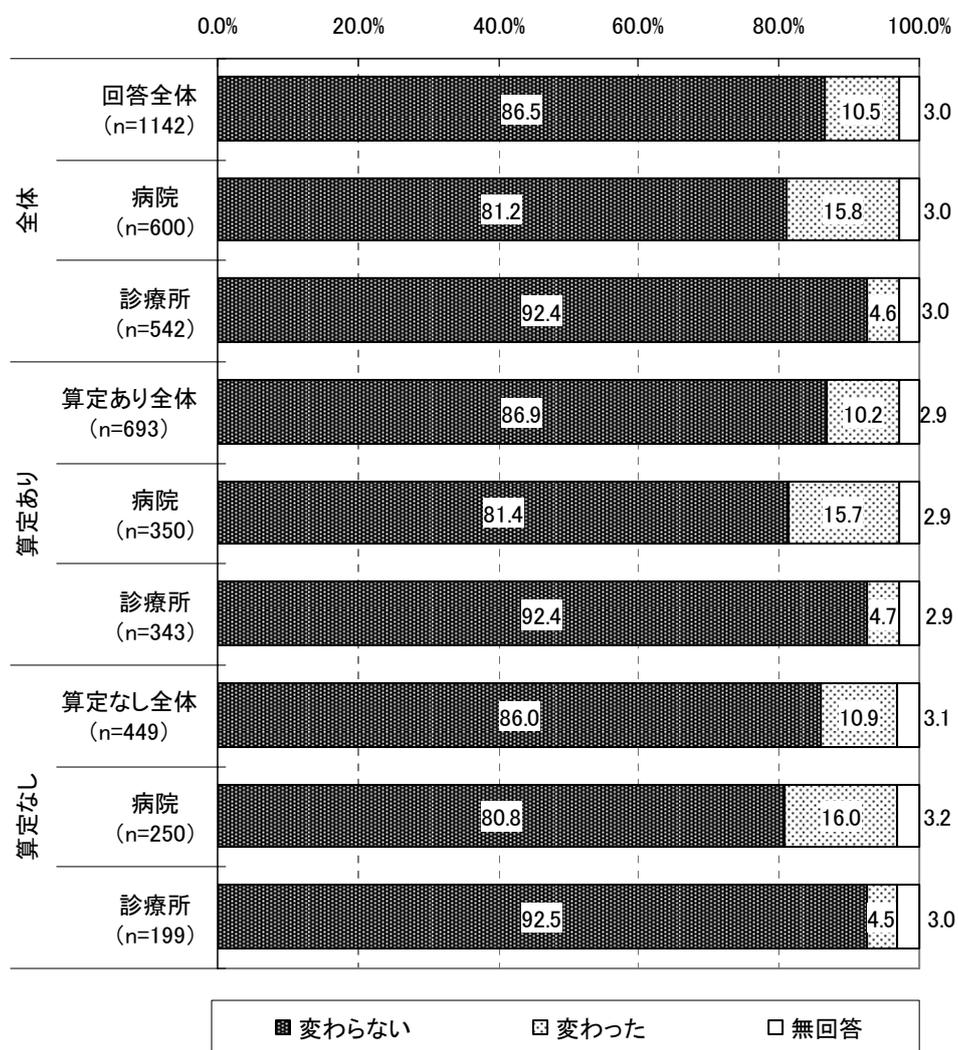


### ③診察内容等の変化（同じ医療機関に1年以上通院している患者）

同じ医療機関に1年以上通院している患者のうち、担当医師が1年前と変わったかどうかについてみると、全体では、担当医師は「変わらない」（86.5%）が大多数を占め、担当医師が「変わった」は10.5%であった。「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに同様の傾向がみられた。

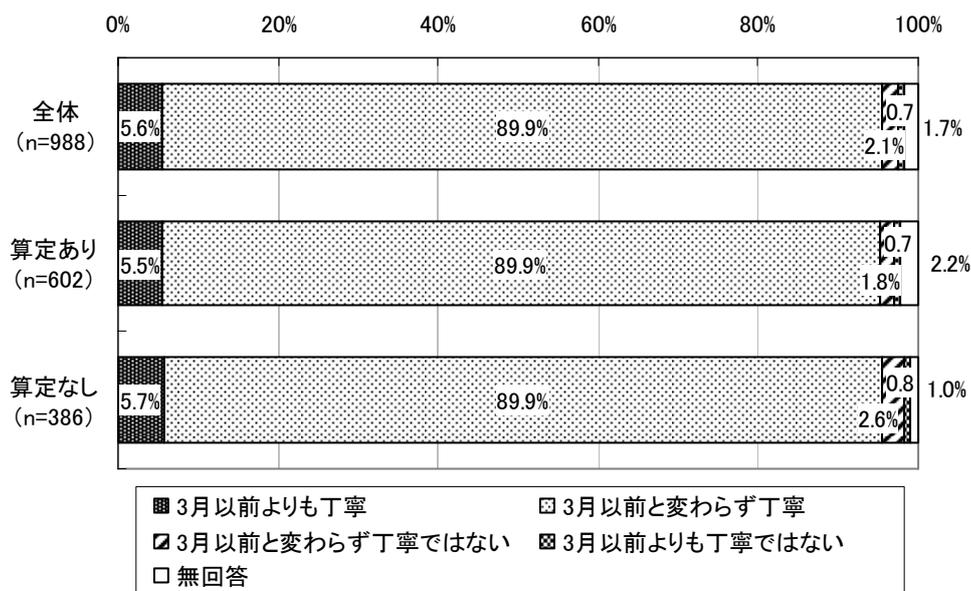
病院・診療所別に担当医師の変更をみると、担当医師が「変わらない」という患者は、病院では81.2%、診療所では92.4%となり、診療所の方が高い結果となった。

図表 66 担当医師の変更（同じ医療機関に1年以上通院している患者）



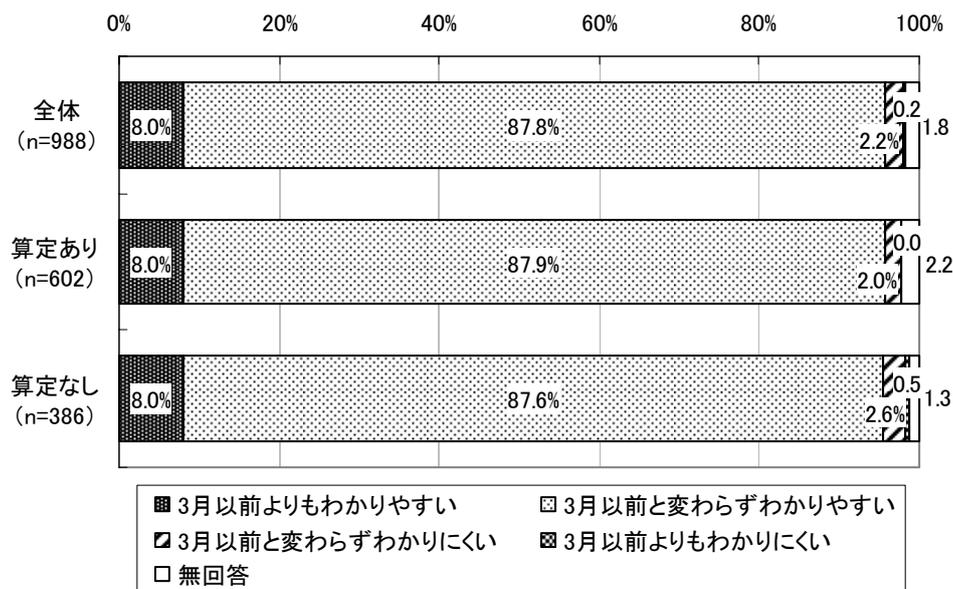
平成 20 年 4 月以降の「問診・身体診察」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらず丁寧」(89.9%) が最も多かった。「3 月以前よりも丁寧」は 5.6%であった。この傾向は、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者においても同様であった。

図表 67 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化（問診・身体診察）



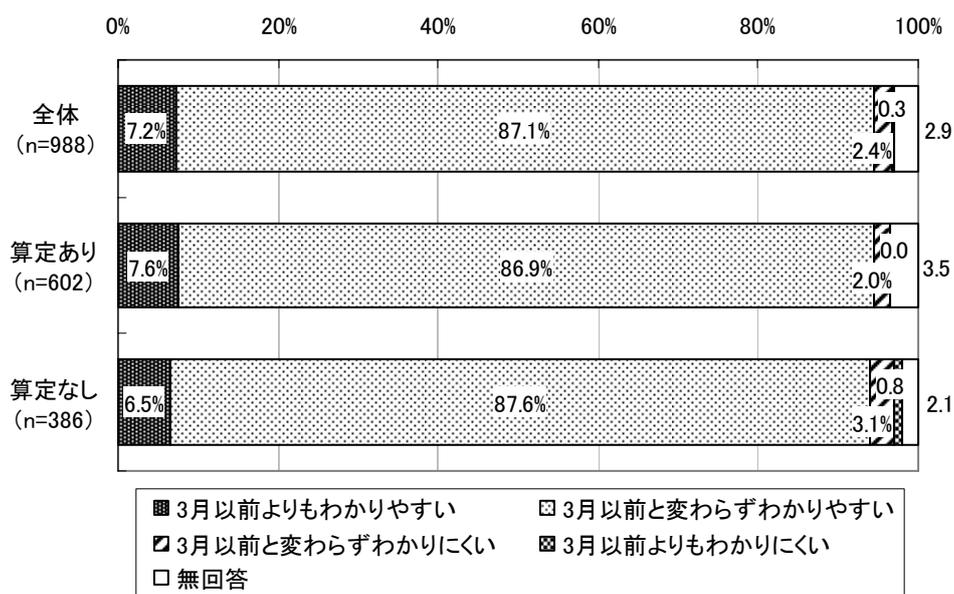
平成 20 年 4 月以降の「症状・状態についての医師からの説明」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらずわかりやすい」(87.8%) が最も多く、「3 月以前よりもわかりやすい」は 8.0%であった。この傾向は、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者においても同様であった。

図表 68 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化（症状・状態についての医師からの説明）



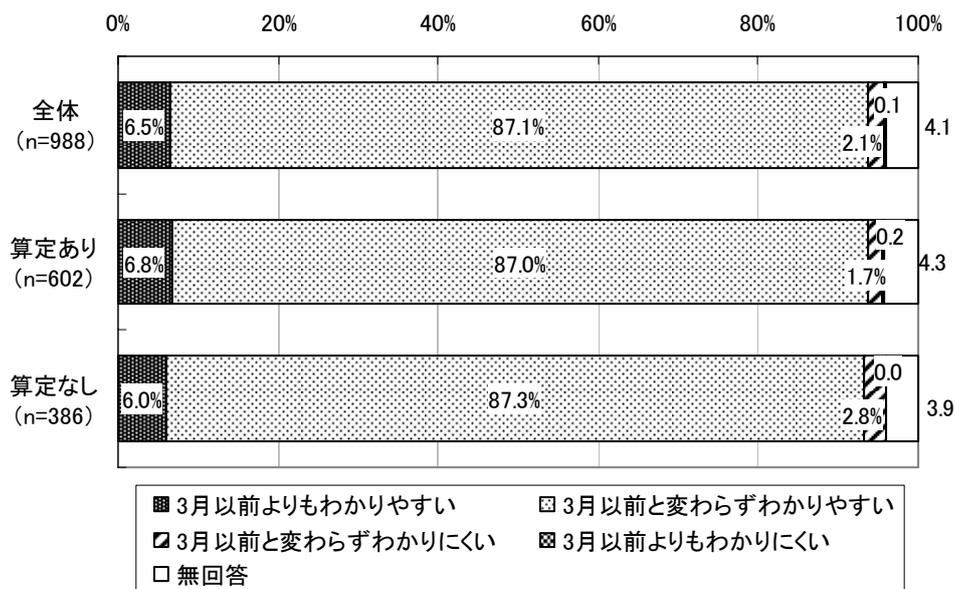
平成 20 年 4 月以降の「今後の治療方針・生活上の注意や指導についての医師からの説明」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらずわかりやすい」(87.1%) が最も多く、「3 月以前よりもわかりやすい」は 7.2% であった。「算定あり」の患者では「3 月以前よりもわかりやすい」の割合が、「算定なし」の患者よりも 1.1 ポイント高かった。

図表 69 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化  
(今後の治療方針・生活上の注意や指導についての医師からの説明)



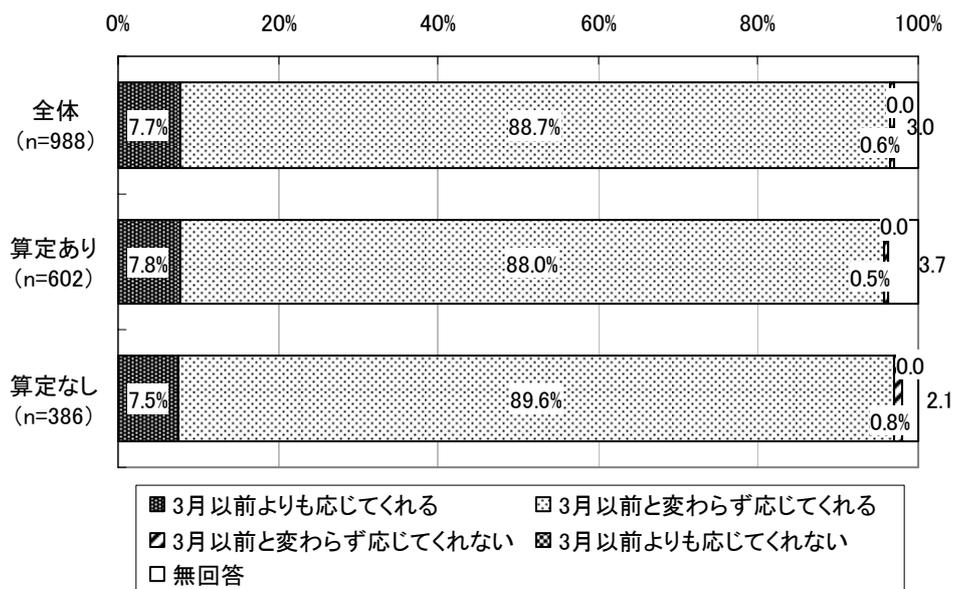
平成 20 年 4 月以降の「処方された薬についての説明」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらずわかりやすい」(87.1%) が最も多く、「3 月以前よりもわかりやすい」は 6.5%であった。この傾向は、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者においても同様であった。

図表 70 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化（処方された薬についての説明）



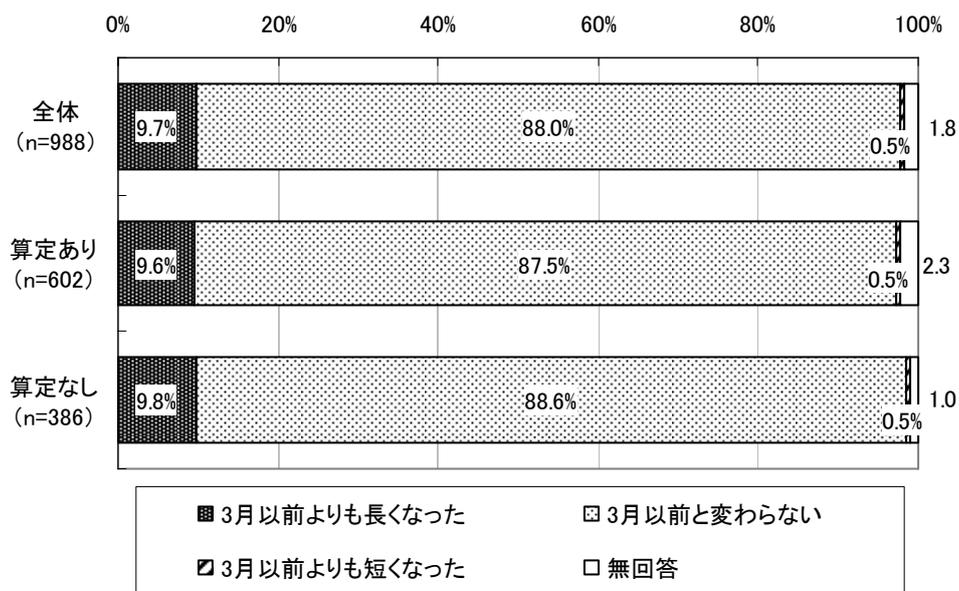
平成 20 年 4 月以降の「悩みや不安についての相談」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらず応じてくれる」(88.7%) が最も多く、「3 月以前よりも応じてくれる」は 7.7%であった。この傾向は、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者においても同様であった。

図表 71 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化（悩みや不安についての相談）



平成 20 年 4 月以降の「医師が直接診察してくれる時間」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらない」（88.0%）が最も多く、「3 月以前よりも長くなった」は 9.7%であった。この傾向は、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者においても同様であった。

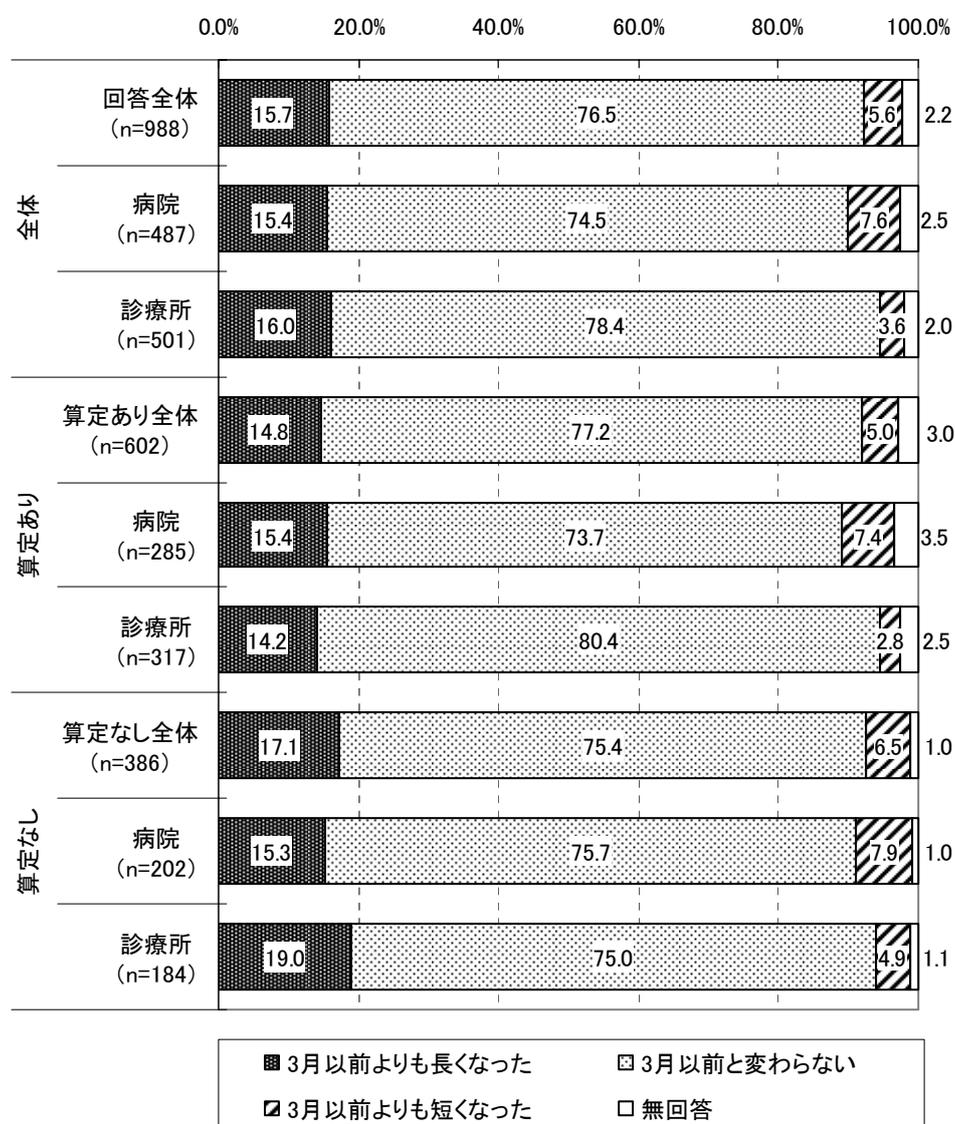
図表 72 平成 20 年 4 月以降の診察時間（医師が直接診察してくれる時間）の変化



平成 20 年 4 月以降の「診察までの待ち時間」の状況についてみると、全体では、「3 月以前と変わらない」(76.5%) が最も多く、「3 月以前よりも長くなった」は 15.7%、「3 月以前よりも短くなった」は 5.6%であった。

「算定あり」の患者と「算定なし」の患者とを全体で比較すると、「算定なし」の患者では、「3 月以前よりも長くなった」と「3 月以前よりも短くなった」の回答割合が「算定あり」の患者よりもやや高い結果となった。

図表 73 診察までの待ち時間の変化



#### ④診察を受けた時の状況

診察を受けた時間についてみると、全体では平均 9.9 分（標準偏差 8.6、中央値 10.0）であった。外来管理加算の算定の有無別にみると、「算定あり」の患者では、平均 10.5 分（標準偏差 9.5、中央値 10.0）、「算定なし」の患者では、平均 8.8 分（標準偏差 6.9、中央値 6.0）であった。

診察を受けた時間の分布を外来管理加算算定の有無別にみると、「算定あり」の患者では、「10 分以上 15 分未満」（34.5%）が最も多く、次いで「5 分以上 6 分未満」（24.8%）、「15 分以上」（20.8%）であった。一方、「算定なし」の患者では、「5 分以上 6 分未満」（28.7%）が最も多く、次いで「10 分以上 15 分未満」（25.1%）、「5 分未満」（19.0%）、「15 分以上」（17.6%）であり、「5 分未満」の割合については「算定あり」の患者に比べて 13.8 ポイント高かった。

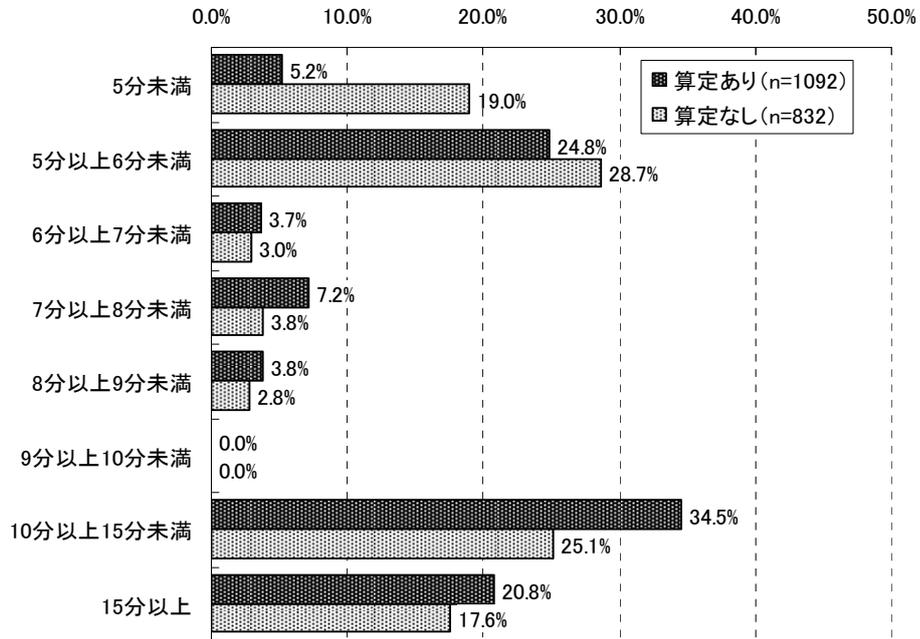
図表 74 診察を受けた時間（分）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
全体 (n=1,270)	9.9	8.6	120.0	1.0	10.0
病院	9.7	9.7	120.0	2.0	8.0
診療所	10.1	7.2	60.0	1.0	10.0
算定あり (n=765)	10.5	9.5	120.0	2.0	10.0
病院	10.6	11.3	120.0	2.0	10.0
診療所	10.4	7.0	60.0	2.0	10.0
算定なし (n=505)	8.8	6.9	60.0	1.0	6.0
病院	8.2	6.5	60.0	2.0	6.0
診療所	9.5	7.4	40.0	1.0	8.0

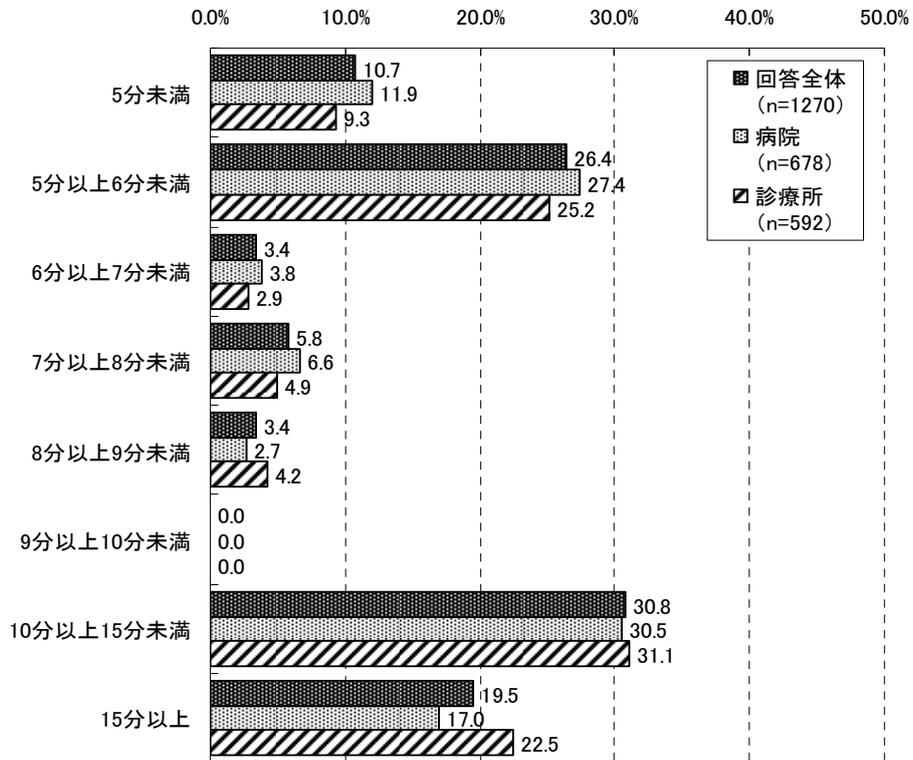
(注)・「診察時間」とは、診察室に入り、医師から直接、問診や身体診察を受けたり、医師へ質問したり、医師から説明を聞いたりした後、診察室を出るまでの時間を指す。

・「わからない」という回答、無回答を除き、集計した。

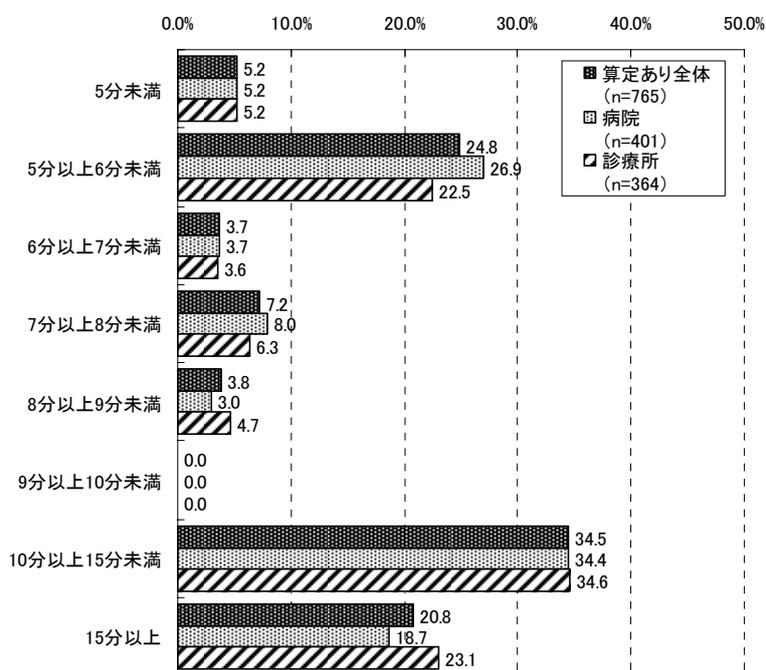
図表 75 診察を受けた時間の分布



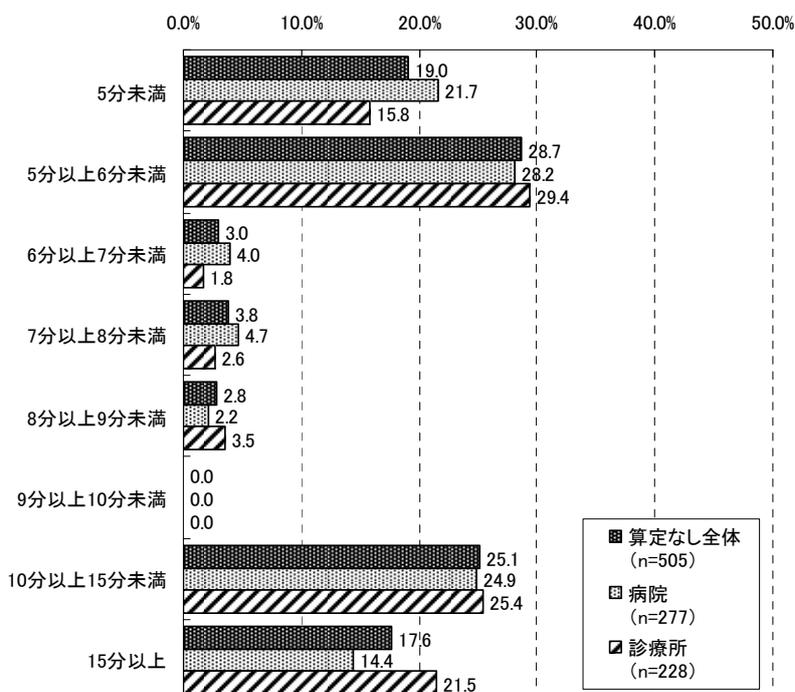
図表 76 診察を受けた時間の分布（全体、病院・診療所別）



図表 77 診察を受けた時間の分布（算定あり、病院・診療所別）

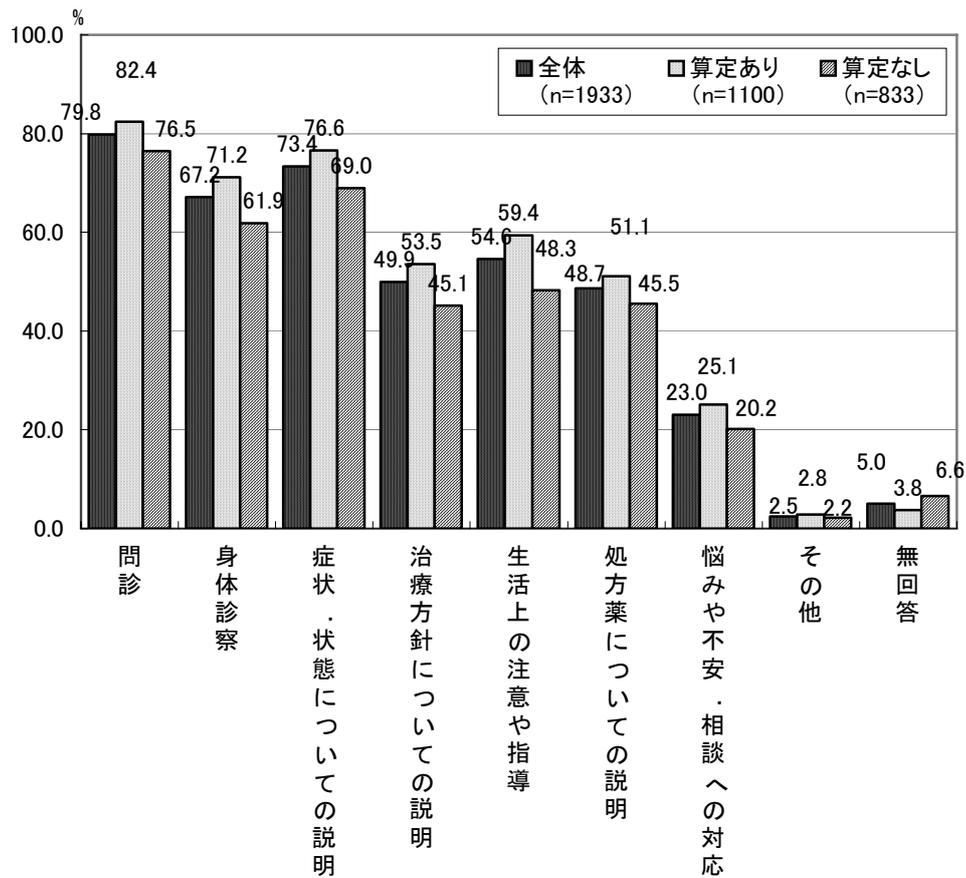


図表 78 診察を受けた時間の分布（算定なし、病院・診療所別）



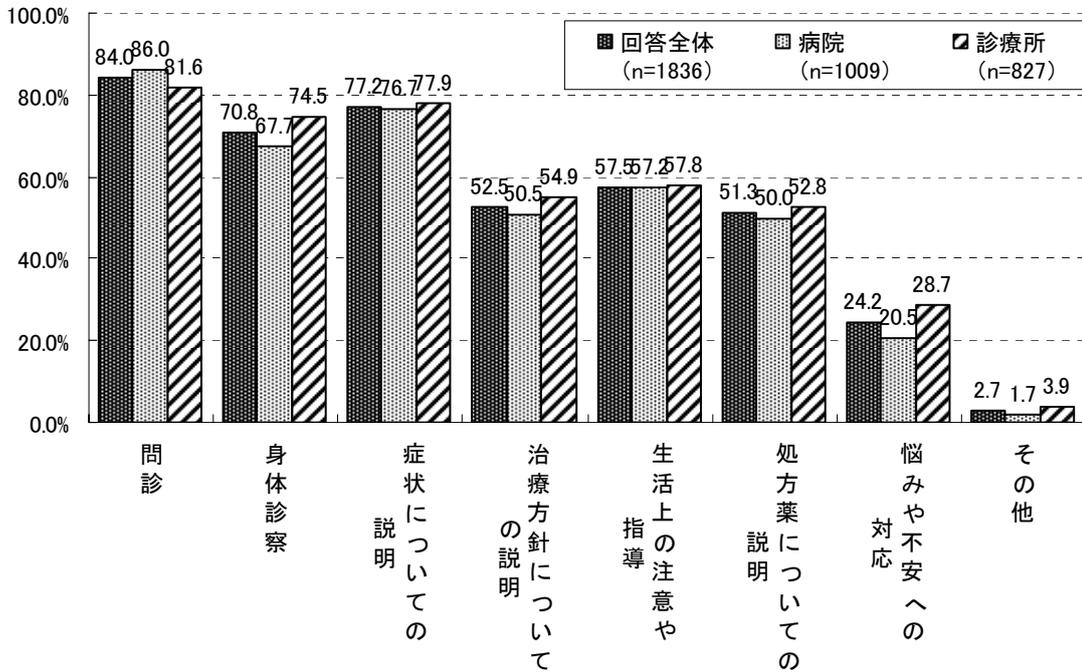
医師から受けた診察の内容についてみると、外来管理加算について「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに、「問診」（それぞれ 82.4%、76.5%）が最も多く、次いで「症状・状態についての説明」（それぞれ 76.6%、69.0%）、「身体診察」（それぞれ 71.2%、61.9%）、「生活上の注意や指導」（それぞれ 59.4%、48.3%）となった。

図表 79 医師から受けた診察の内容

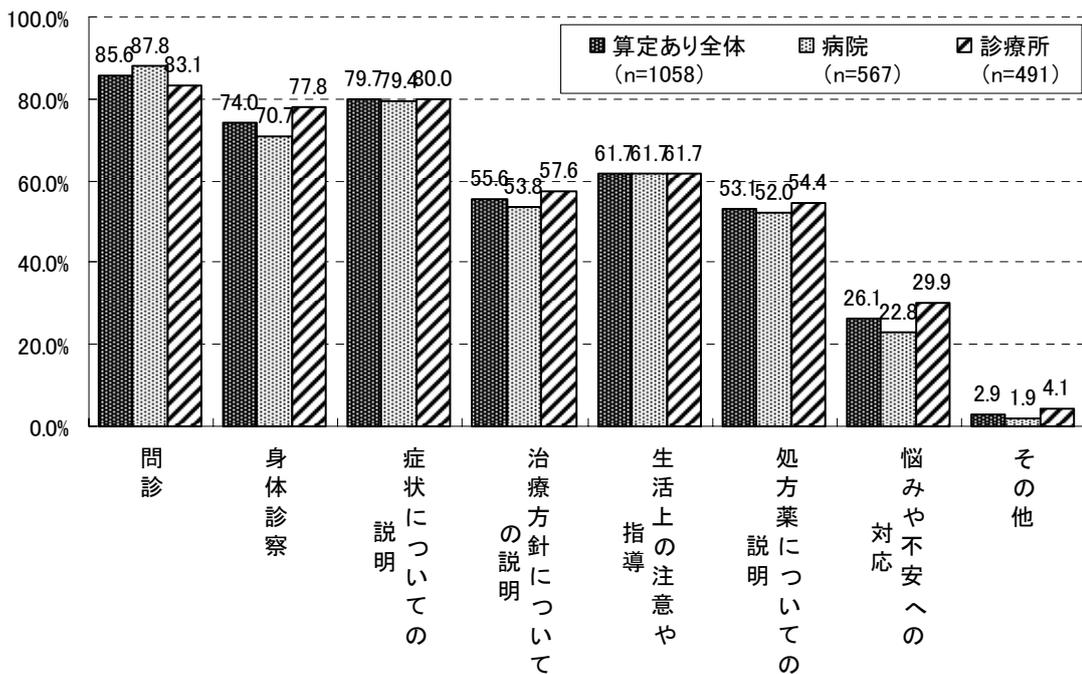


(注) 「その他」の内容として、「検査や検査結果に対する説明」「家族に関する悩みや相談」等の回答があげられた。

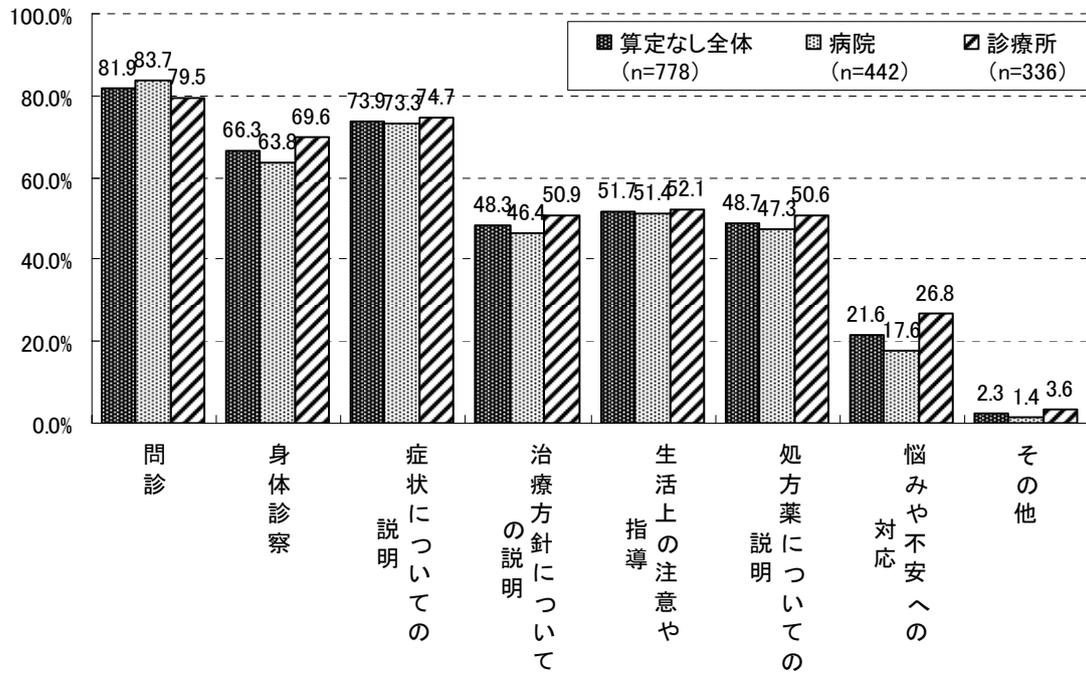
図表 80 医師から受けた診察の内容（全体、病院・診療所別）



図表 81 医師から受けた診察の内容（算定あり、病院・診療所別）

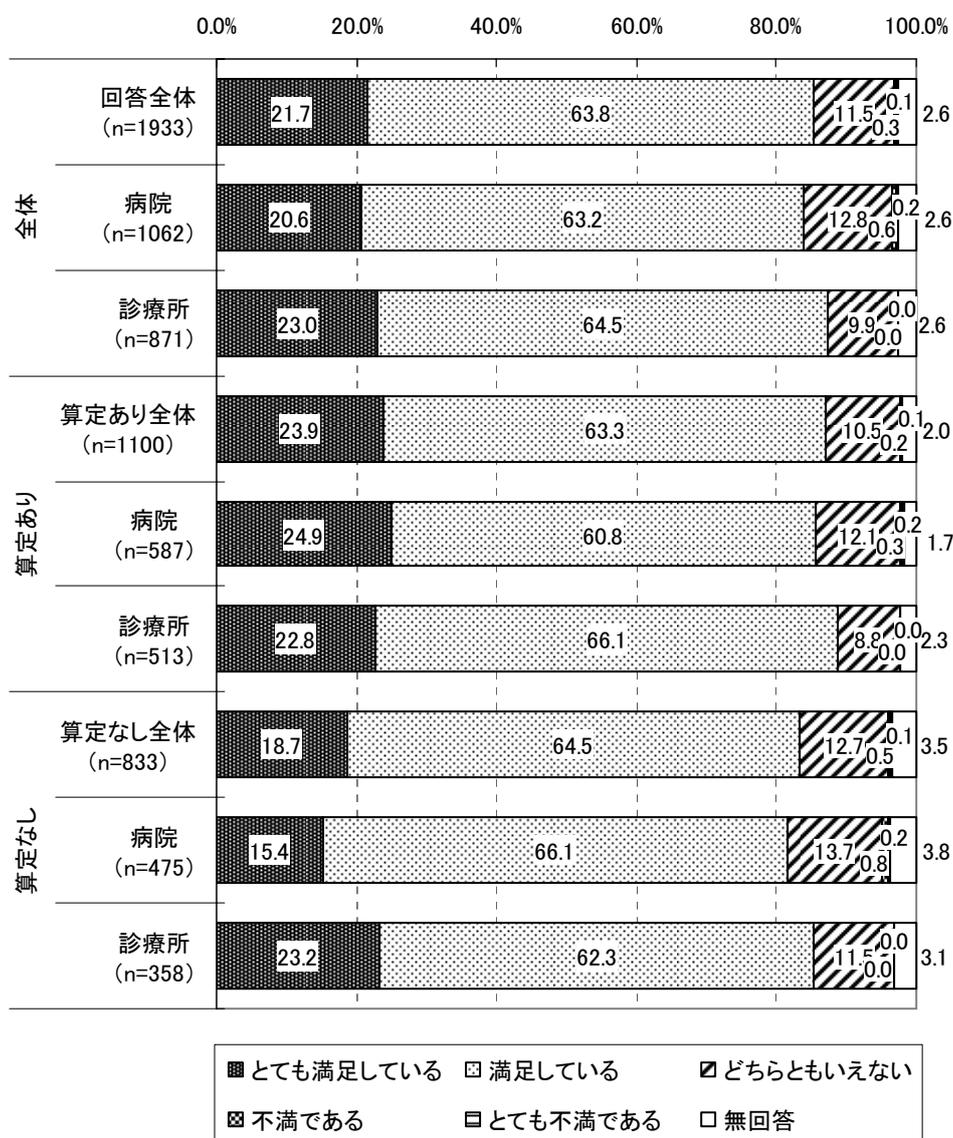


図表 82 医師から受けた診察の内容（算定なし、病院・診療所別）



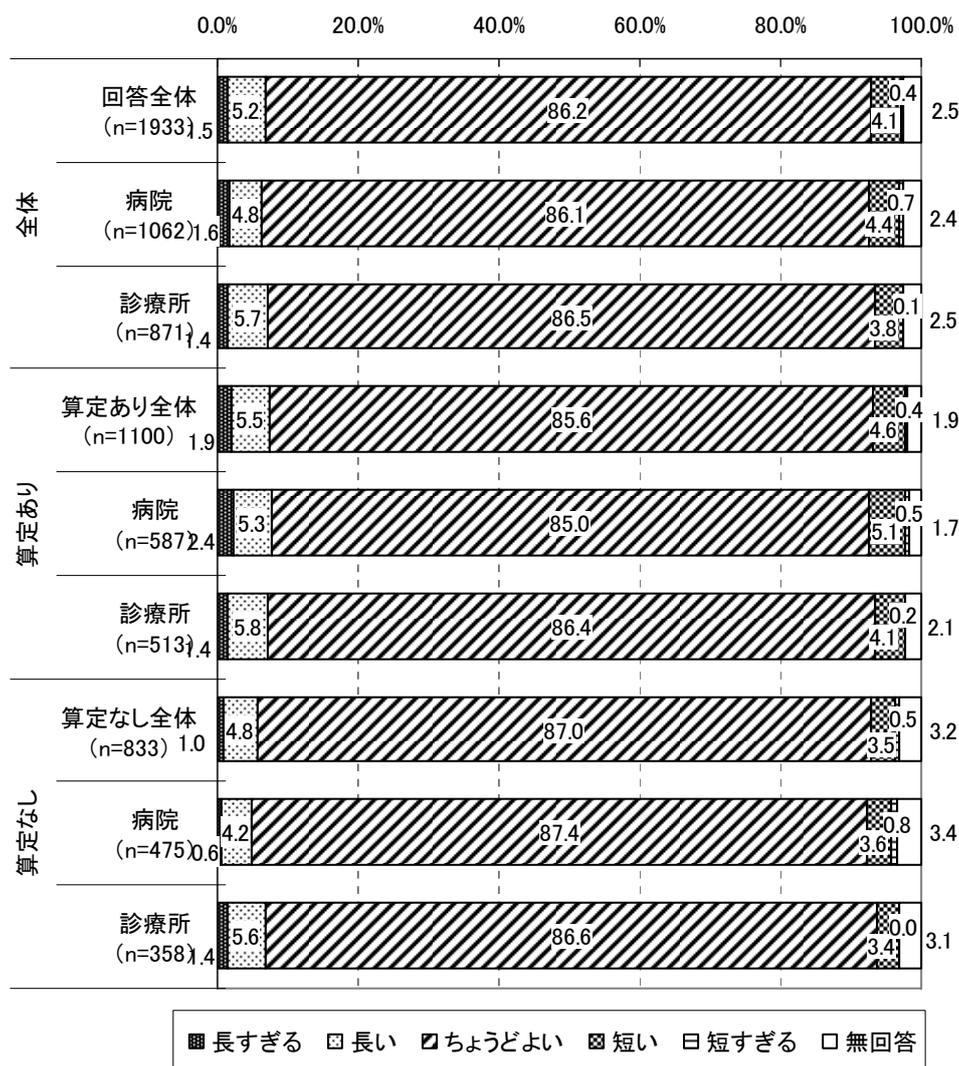
診察内容に対する満足度についてみると、「算定あり」の患者では、「とても満足している」(23.9%)と「満足している」(63.3%)を合わせると87.2%、「算定なし」の患者では、「とても満足している」(18.7%)と「満足している」(64.5%)を合わせると83.2%で、「算定あり」の患者の方がやや高い結果となった。一方、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「どちらともいえない」(それぞれ10.5%、12.7%)が1割を占めた。

図表 83 診察内容に対する満足度



診察時間の長さに対する評価についてみると、全体では「ちょうどよい」(86.2%)が大多数を占めた。一方で、「長すぎる」(1.5%)と「長い」(5.2%)を合わせると6.7%、「短すぎる」(4.1%)と「短い」(0.4%)を合わせると4.5%であった。この傾向は、「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様であった。

図表 84 診察時間の長さに対する評価



「診察時間の長さに対する評価別平均診察時間」についてみると、全体では、「長すぎる、長い」と回答した患者の平均診察時間は 12.42 分、「ちょうどよい」と回答した患者の平均は 9.86 分、「短い、短すぎる」と回答した患者の平均は 5.52 分であった。

外来管理加算算定の有無別にみると、「算定あり」では、「長すぎる、長い」と回答した患者の平均診察時間は 12.95 分、「ちょうどよい」と回答した患者の平均診察時間は 10.59 分、「短い、短すぎる」と回答した患者の平均診察時間は 5.44 分であった。また、「算定なし」では、「長すぎる、長い」と回答した患者の平均診察時間は 11.41 分、「ちょうどよい」と回答した患者の平均診察時間は 8.79 分、「短い、短すぎる」と回答した患者の平均は 5.67 分であった。

「ちょうどよい」と回答した「算定あり」の患者の平均診察時間は、「算定なし」の患者の平均診察時間よりも 1.8 分長かった。

図表 85 「診察時間の長さに対する評価」別 平均診察時間

	全体		算定あり		算定なし	
	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)
全体	1270	9.86	765	10.55	505	8.82
長すぎる、長い	84	12.42	55	12.95	29	11.41
ちょうどよい	1130	9.86	673	10.59	457	8.79
短い、短すぎる	52	5.52	34	5.44	18	5.67
無回答	4	12.50	3	15.00	1	5.00

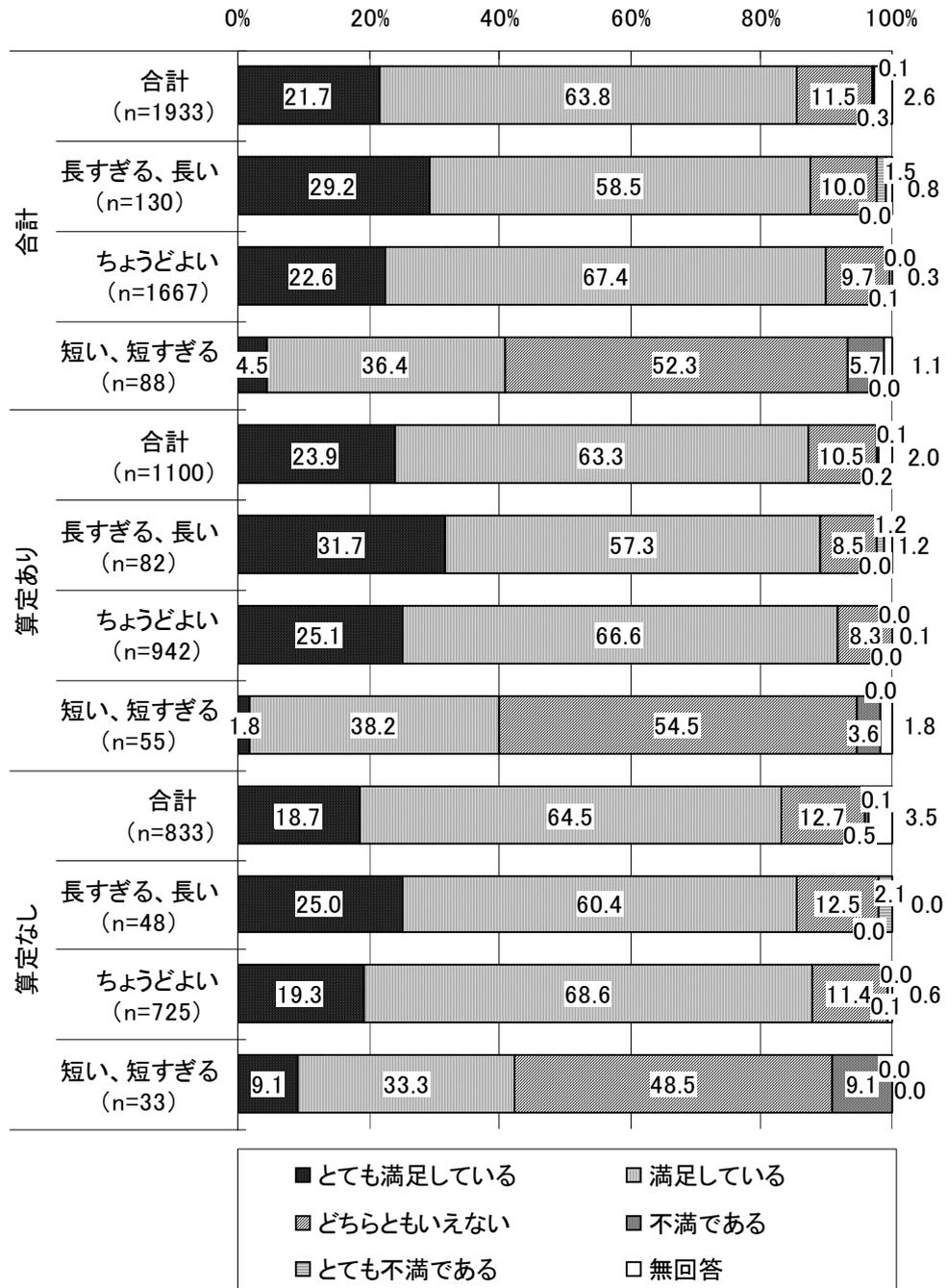
「診察時間の長さに対する評価」別に「診察内容に対する満足度」をみると、外来管理加算の「算定あり」の患者では、「長すぎる、長い」と回答した患者のうち「とても満足している」は 31.7%、「満足している」は 57.3%であり、「とても満足している」と「満足している」を合わせると 89.0%であった。「ちょうどよい」と回答した患者では、「とても満足している」は 25.1%、「満足している」は 66.6%であり、「とても満足している」と「満足している」を合わせると 91.7%であった。一方、「短い、短すぎる」と回答した患者では、「どちらともいえない」(54.5%) が最も多くなった。

外来管理加算の「算定なし」の患者では、「長すぎる、長い」と回答した患者のうち「とても満足している」は 25.0%、「満足している」は 60.4%であり、「とても満足している」と「満足している」を合わせると 85.4%であった。「ちょうどよい」と回答した患者では、「とても満足している」は 19.3%、「満足している」は 68.6%であり、「とても満足している」と「満足している」を合わせると 87.9%であった。一方、「短い、短すぎる」と回答した患者では、「どちらともいえない」(48.5%) が最も多くなった。

外来管理加算算定の有無別に「長すぎる、長い」と「ちょうどよい」と回答した患者の満足度を比較すると、「とても満足している」と「満足している」を合わせた割合は、「算定あり」の患者の方が、「算定なし」の患者よりもそれぞれ 3.6 ポイント、3.8 ポイント高かった。同様に「短い、短すぎる」と回答した患者の満足度は、「算定あり」と「算定なし」

の患者ともに「どちらともいえない」（それぞれ 54.5%、48.5%）が最も多かった。

図表 86 「診察時間の長さに対する評価」別「診察内容に対する満足度」



医師の問診や身体診察の丁寧さについての評価をみると、「算定あり」の患者では、「丁寧だった」(63.3%)が最も多く、「とても丁寧だった」(24.4%)を合わせると87.7%であった。一方、「算定なし」の患者では、「丁寧だった」(60.5%)が最も多く、「とても丁寧だった」(20.4%)を合わせると80.9%であり、「算定あり」の患者の方がやや高かった。

図表 87 医師の問診や身体診察の丁寧さについての評価

